

地域とともにある学校

コミュニティ・スクールだより

児童の「安全・安心」

ある地域の方が、「保護者、地域の皆さんが子供たちに最も願うことは、児童の「安全・安心」だと思いますよ。」と言われました。

「登校中の児童の列に車が……。」

「不審者から声をかけられて……。」

「池や川で遊んでいて……。」

「ボール遊び禁止の公園でボールが窓に……。」

このようなことが絶対にあってははいけません。学校への登下校中はもちろん、休日の遊びなど、児童が「安全」で「安心」して過ごせる地域であり環境であることを保護者の方はもちろん地域の方々も望んでおられます。

そのために学校では、児童が自ら「安全」に暮らす力を身に付けるけることができるよう、特別活動（学級活動）において「事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること」や「道徳」において「生命の尊さ」「善悪の判断」「安全に気を付けた生活」「規則の尊重」など、学級での教科等の学習を通して指導するとともに、登下校での様子や相談などから「個別の指導」も行っているところです。

しかし、児童が気を付けていても守れない「安全・安心」があるため、例えば、登下校においては、「東西条子供みまもりネット」「東西条住民自治協議会、防犯・防災部会」「民生委員児童委員」の方々が「ボランティア」で児童の安全を見守ってくださっています。



また、保護者の方々の中にも、「途中まで見送り」「途中までお迎え」をしてくださり、我が子はもちろん「近所の子供たち」も見守りをしてくださっています。

さらに、市教育委員会は「子ども110番の家」を募集・登録し、児童が「つきまとい」や「声かけ」などの不安をいだかせる出来事に対して「避難できる」家庭や事業所、商店等をお願いしています。（ご賛同いただける方は、学校までご連絡いただければ、制度の説明や申込書をお渡しし、登録へとつなげます。）

いよいよ児童が楽しみにしている夏休みです。8月29日までの長期休業中、一件の事故や事件が無いよう、学校としても事前の指導を行ってまいります。保護者、地域の方々におかれましても積極的に「見守って」下さり、危ないことには一言「あぶないよ」の声掛けをためらわないようにしていきましょう。

裏面もどうぞ

3年、4年 地域学習

<4年生 株式会社「COCCO」「東広島リサイクルセンター」見学>

創業 60 周年を迎えた 12 年前、これまで以上に地域から必要とされる企業を目指し、「再生（再び生かす）」をキーワードに、企業理念を『人に心地よい環境をつくり（COMFORTABLE）、資源を持続的に活かし（CYCLE）、地域と共に成長する（COMMUNITY）、総合リサイクル活性化企業』に再構築し、この企業理念の頭文字をとり、社名を「株式会社こっこー（COCCO）」に改称されました。

この工業団地内において PTA 資源回収での回収した古新聞や空き缶を搬入することでお世話になっている企業さんです。

センター長の井原幸法さんは、今回の見学の申込に際し「Well come です」「最大限協力します」と言われました。見学時には職員の方々6名も加わっていただき、児童の見学の安全確保や質問にも対応してくださいました。



4年生は社会科の「廃棄物の処理」と総合的な学習

「環境問題を解決しよう」を関連づけて計画しましたが、同時に東西条小学校区に「環境問題に直接かかわって努力されているすばらしい企業がある」という良さや自慢にもつながられた学習でした。

<3年生 「ショージバイパス店」と「ホームセンターDCM 土与丸店」見学>

「ショージ」では山根店長さんが自ら説明者となり、店内を案内し、児童の質問にも応えてくださいました。見学では、「お惣菜担当」「冷凍食品担当」など、担当によって服装が違ってくるよう、「コーナー」ごとに担当職員を紹介して説明してくださいました。山根店長さんにもお子様がおられるそうで、こうして「お店の見学」をする学習に大変協力的でした。

児童の質問の一つに「なぜ ショージというのか」という質問があり、店長さんも「西条商事」と「ショージ」を説明するのに苦慮して苦笑いでした。思い起こすと「西条商事」さんは、西条駅の東側にあり、後に「旧吉土実小学校」隣に店舗があったことを思い出します。まさに東西条小学校区の皆さんと縁のあるスーパーマーケットだと思いました。

店内には「地産地消コーナー」や「広島県産応援登録制度」の表示もあり、第5学年の「これからの農業の発展」に関わっても学べるところが多いと感じました。

東西条小学校は、米作りに携わる方々や、スーパーなど「販売」に関わる方々、消防署などの「安全を守る」方々など、実際を見学できる最高に恵まれた小学校だと改めて思いました。

